

1 事業目的

ワークショップや映画人の講演、映画上映などを通して、小中学生に本物の映像文化に触れ、感性を高める機会を提供するとともに、映画づくりの舞台裏に触れることで、共同作業の楽しさ、すばらしさを伝える。

2 事業内容

小学生の希望者を対象とした「アニメ制作ワークショップ」と各中学校で開催する映画人による講演と関連作品の上映を実施し、映画を子ども達に多角的に体験させる。

(1) コマ撮りアニメ制作ワークショップ「コマ撮りアニメをつくろう！」

【概要】

- 実施日 平成27年8月8日（土） **実施済**
- 対象 小学5、6年生希望者
- 募集人数 20人
- 講師 アトリエ・シエスタ Akanēさん、Junさん
- 会場 文化センター会議室兼展示室

(2) 映画人による講演＋関連作品の上映（中学生対象）

【概要】

- 実施校・日程
 - ・第二中学校 10月13日（火）
 - ・北会津中学校 10月14日（水）
 - ・第四中学校 10月27日（火）
 - ・大戸中学校 10月28日（水）
 - ・第三中学校 10月29日（木）
- ※隔年で「わくわく理数教室」と交互に実施
- 上映作品 「あん」（平成27年5月30日全国公開作品）
- 講師 ドリアン助川（原作者）
- ゲスト 樹木 希林（出演者）
- 会場 実施中学校5校の体育館
 - ※プロジェクター、スクリーン等を持ち込み出張映写を行う。
- 講演時間 映画上映とあわせ午後開催で3時間程度

3 実施体制

講師の招聘、上映作品の手配、上映機材の提供及び操作については、イオンエンターテイメントの協力で行う。

平成27年度 映画から学ぶ～感動をつくる仕事～ 上映作品と講師紹介

・上映作品 「あん」 (2015年公開・日・仏・独合作)

ドリアン助川の同名小説「あん」を、世界を舞台に創作活動を続ける監督・河瀬直美が映画化。日本を代表する女優・樹木希林をはじめ、抜群の演技力で独特の存在感を放つ永瀬正敏、樹木の実孫である新星・内田伽羅(うちだきやら)や、芸歴50年を超えようやく樹木との共演が実現した市原悦子など、豪華キャストで贈る、心揺さぶる作品。第68回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門オープニングフィルム作品。

《ストーリー》

縁あってどら焼き屋「どら春」の雇われ店長として単調な日々をこなしていた千太郎(永瀬正敏)。そのお店の常連である中学生のワカナ(内田伽羅)。ある日、その店の求人募集の貼り紙をみて、そこで働くことを懇願する一人の老女、徳江(樹木希林)が現れ、どらやきの粒あん作りを任せることに。徳江の作った粒あんはあまりに美味しく、みるみるうちに店は繁盛。しかし心ない噂が、彼らの運命を大きく変えていく…

・講師 ドリアン助川 (原作)

東京都生まれ、神戸育ち。

早稲田大学時代に劇団を主宰し、卒業後は雑誌ライター、放送作家などを経て、ドリアン助川の名で「叫ぶ詩人の会」を結成。ドリアン助川名義以外でも、執筆やライブ活動など精力的に芸能活動を継続。ニッポン放送系列の深夜ラジオ番組「ドリアン助川の正義のラジオ!ジャンベルジャン!」が若者の人気を集め、若者に向けて真摯で辛辣なコメントを投じることから当時出演していたTV番組の名前通り“金髪先生”とも言われていた時期がある。映画では河瀬直美監督の『朱花(はねづ)の月』(11)に出演経験がある。

・ゲスト 樹木希林 (出演)

女優。東京都生まれ。

1961年に文学座に入り、「悠木千帆」名義で女優活動スタート。1964年に森繁久彌主演のTVドラマ「七人の孫」にレギュラー出演し、一躍人気を博す。1974年からはTVドラマ「寺内貫太郎一家」(TBS)で貫太郎の実母を演じ、社会現象を起こすまでになる。その後も精力的にTV、映画、演劇に活躍、国民的女優として現在も精力的にヒット作や話題作に出演。2008年に紫綬褒章を受賞、2013年には『わが母の記』で最優秀主演女優賞を受賞、2014年秋には、旭日小綬章を受章したばかり。『半落ち』(04)、『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』(07)、『歩いてても歩いても』(08)、『悪人』(10)、『わが母の記』(12)、『ツナグ』(12)、『そして父になる』(13)、『神宮希林 わたしの神様』(14)等。